

医療福祉連携士
～医療と介護福祉を結ぶ人材育成～



日本医療マネジメント学会

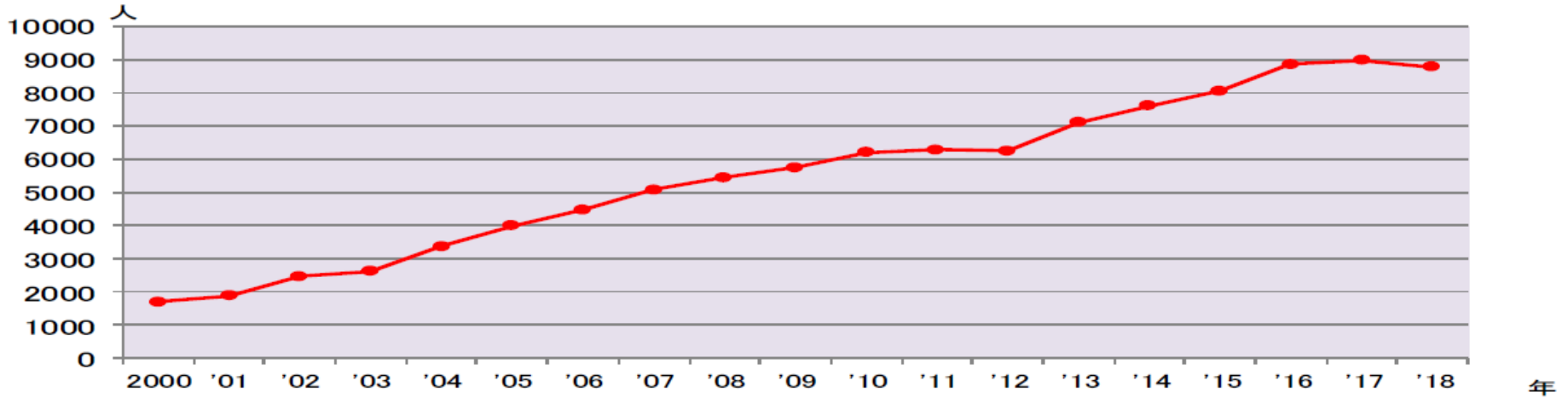
日本医療マネジメント学会

Japan Society for Health Care Management

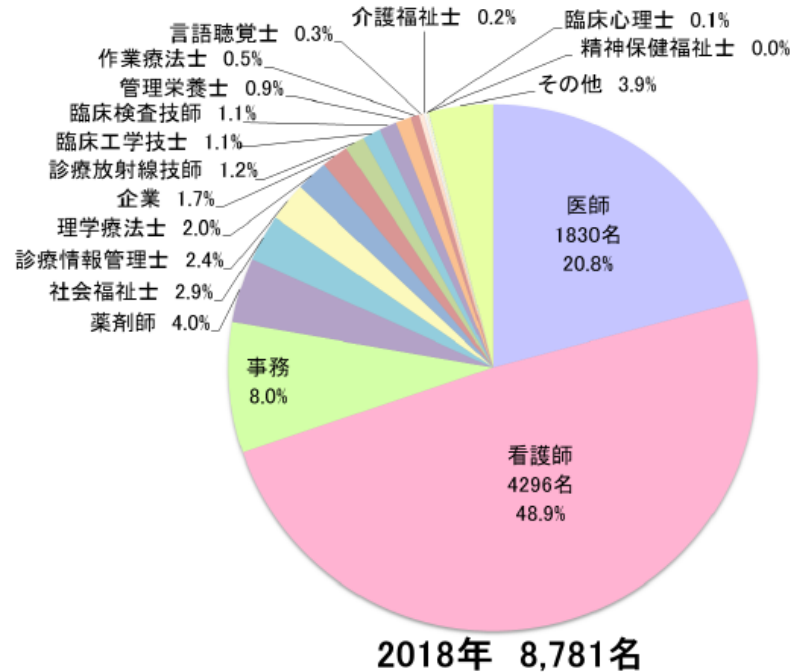
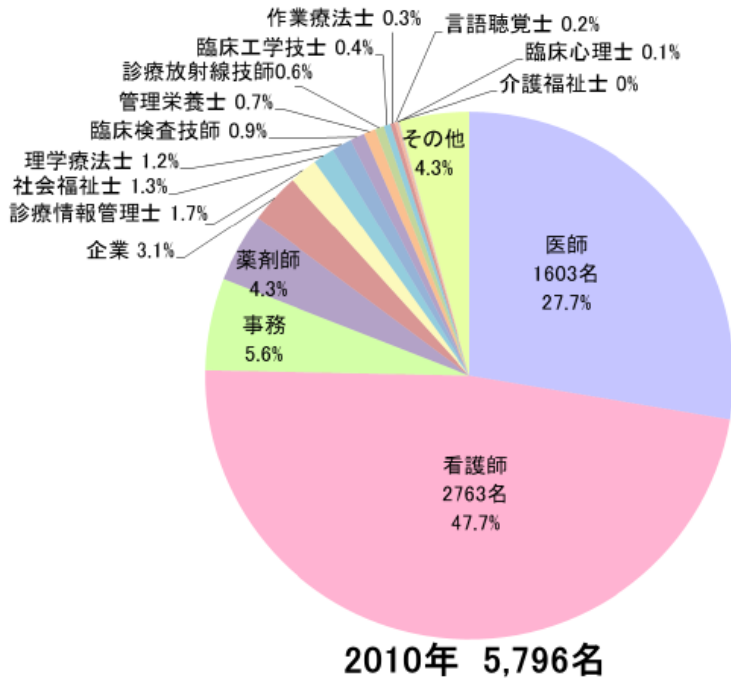
- 会長
 - 国立病院機構熊本医療センター名誉院長
宮崎久義
- 学会テーマ
 - クリティカルパス
 - 医療安全
 - 地域医療連携
 - 電子カルテ
 - その他
- 会員数 9000人



学会会員数の変遷



職種内訳



医療福祉連携講習会

学会認定「医療福祉連携士」

- 日本医療マネジメント学会は学会認定の医療福祉連携士制度を**2011**年に創設した
- 目的
 - 地域の急性期医療機関から在宅までの切れ目のないサービスを効率的に提供し、
 - 患者にとって最適な連携を推進するため、
 - 医療と福祉を連携コーディネートする「医療福祉連携士」の育成と認定制度を創設する

医療福祉連携講習会(実行委員長 野村一俊)

2018年度 医療福祉連携講習会開催の御案内

テーマ：医療・福祉分野の連携・調整のエキスパートを養成する

本講習会は、地域の医療及び福祉の円滑な連携の推進に寄与し、質的な向上を図ることによって、限られた医療及び福祉機能の効率化を図り、国民の医療及び福祉に資することを目的として、医療福祉分野の連携・調整のエキスパートを養成するもので、今回で9回目を迎えます。本講習会の履修は、本学会の医療福祉連携士認定試験の受験資格必須条件となります。定員に限りがありますので早めに申し込みくださいますようお願い申し上げます。

日本医療マネジメント学会理事長 宮崎 久義
医療福祉連携講習会実行委員長 野村 一俊

1 会期

- (1) 共通科目：2018年6月30日(土)、7月1日(日)、8月4日(土)、8月5日(日)の4日間
- (2) 医療系科目：9月1日(土)、9月2日(日)の2日間
- (3) 福祉系科目：9月22日(土)、9月23日(日)の2日間
- (4) 課題講習：11月17日(土)、11月18日(日)の2日間

医療福祉連携士 認定試験(認定委員会委員長 大久保一郎)

第1回	2011年3月5日(土)	87名	合格
第2回	2012年3月3日(土)	60名	合格
第3回	2013年3月2日(土)	59名	合格
第4回	2014年3月1日(土)	63名	合格
第5回	2015年3月7日(土)	53名	合格
第6回	2016年3月5日(土)	34名	合格
第7回	2017年3月4日(土)	61名	合格
第8回	2018年3月3日(土)	68名	合格

計 485名

受講生分布図



■ 第1期生(2010年度)	■ 第5期生(2014年度)
■ 第2期生(2011年度)	■ 第6期生(2015年度)
■ 第3期生(2012年度)	● 第7期生(2016年度)
■ 第4期生(2013年度)	● 第8期生(2017年度)
	● 第9期生(2018年度)

医療福祉連携士

- 病院などの地域医療連携室や、地域の包括支援センターで連携業務に従事するスタッフを対象にした初めての学会認定制度
- 2011年からスタートし、現在までに学会認定の初の「医療福祉連携士」がこれまで**500**名近くが誕生
- 全国ではじめての医療と福祉の連携コーディネーター制度
- スーパー連携士、スーパーケアマネをめざす制度
- **最近、MRやMSの参加が増えてきた！**

研修日程と場所

- 研修場所
 - 日本医科大学教育棟2階（東京）、実習は各地
- 研修日程
 - 5月16日から11月18日の間の土日、10日間
 - 共通科目
 - 医療系科目
 - 福祉系科目
 - 課題講習
 - 施設実習

研修科目（共通科目）

○講義

- 1 地域医療連携概論
- 2 医療政策・関係法規概論
- 3 診療報酬制度概論
- 4 福祉連携論
- 5 ケアマネジメント論
- 6 病院運営概論
- 7 医療情報システム概論
- 8 クリティカルパス概論
- 9 クリティカルパス演習Ⅰ
- 10 クリティカルパス演習Ⅱ

- 11 地域連携クリティカルパス概論Ⅰ
- 12 地域連携クリティカルパス概論Ⅱ
- 13 地域連携クリティカルパス演習Ⅰ
- 14 地域連携クリティカルパス演習Ⅱ
- 15 在宅医療概論
- 16 カウンセリング概論

○地域連携の実習

- 1 地域医療連携実習
- 2 地域連携クリティカルパス実習

○フォローアップ研修

*** すべての座学と実習を履修すること。**

*** 座学1コマ :90分 実習1コマ:6時間**

専門科目

医学系科目

○座学

- 1 臨床医学概論Ⅰ
- 2 臨床医学概論Ⅱ
- 3 臨床医学概論Ⅲ
- 4 臨床医学概論Ⅳ
- 5 臨床医学概論Ⅴ
- 6 臨床医学概論Ⅵ
- 7 臨床看護概論
- 8 地域看護概論

○実習

- 1 臨床医学実習Ⅰ（急性期病院）
- 2 臨床医学実習Ⅱ（回復期病院）
- 3 臨床医学実習Ⅲ（地域診療所）
- 4 保健行政実習（保健所、保健センター）

福祉系科目

○座学

- 1 医療福祉論
- 2 精神保健福祉論
- 3 退院支援論Ⅰ
- 4 退院支援論Ⅱ
- 5 地域移行支援論
- 6 福祉制度論
- 7 福祉施設論
- 8 在宅介護論

○実習

- 1 介護療養型施設実習（入所施設）
- 2 在宅福祉実習（地域包括支援センター）
- 3 福祉行政実習（福祉事務所、自相等）
- 4 居宅介護支援施設実習

* 座学は全て、実習は2つ以上を履修すること

認定試験

- 受講資格者が学会が主催する研修会において、必要な科目を履修することにより、受験資格を得る。
- 学会以外が主催する研修会や講義の一部を学会主催の科目として認定することもできる。
- 受験希望者は個別に学会に受験資格の認定を受けるために必要な手続き（書類等の提出）を行う。
- 認定試験は受験資格にかかわらず、全ての科目から出題される。

医療福祉連携士とMR

今まで製品の観点からばかり医療を見ていて、患者さんの生身の姿を見てこなかった！

実習を通じて、患者さんによりそう医療・介護職をみて別の世界を見た気がした！

アステラス製薬
小林正和さん



医療福祉連携士とMR

- 医療福祉連携士の講習会に呼ばれて、おどろいた。受講生には医師、看護師、社会福祉士の資格を持つ方が多かったが、なかにはMRさんもおられました。
- MRさんといえば医者の実を良く知っておられる職種。いわば患者さんの想いを叶えるコンシェルジュのような役割だ。まさにこの役割が医療福祉連携士であると思います。



在宅医療の長尾和宏先生

目指そう、医療福祉連携士！

詳細は日本医療マネジメント学会ホームページから



講師の先生方と医療福祉連携士7期生の皆さん

医療福祉連携士の会 PL分科会ウエスト

PLとはPharmaceutical Liasonのことです。